

が聞きたい!

いっぱん質問

菊永 自主防災組織率が100%となっているが、防災訓練など充実し



菊永 忠行 議員

深町 平成25年3月28日の南日本新聞によると、始良市は、社会全体による協働の子育て・人づくりを目指し「子育て基本条例」を制定しており、県内では初めてである。核家族化、少子化、共



深町 幸子 議員

子育て

条例を制定する考えは
教育長／先進地を参考に検討していきたい

働き家庭の増加等による地域の人間関係の希薄化にともない、家庭や学校で子育てに対する不安や負担が増大しているが、「子育て基本条例」を制定する考えはないか。

教育長 子育てについては、学校、家庭、地域社会の三者連携のもとに取り組むことは非常に重要なことだと考えている。新しい条例制定後の実効性を高めるための措置を十分しておく必要が

あるので、先進地の実施状況等を参考にしながら、検討していきたいと考えている。



子育て広場キラキラくらぶ

防災

自主防災組織の充実
市長／訓練などの協力を呼びかけている

ていない組織に、今後どのように対応する考えか。

市長 災害を未然に防ぐとともに、災害による被害を最小限に抑えるため

には、災害発生時における自主防災組織のスムーズな初動活動が求められていることから、日常の防災訓練などは重要なことである。
毎年実施している市の総合防災訓練には自主防災組織の方々も参加をして、避難誘導・炊飯支援・

市政のここ

10人が
登壇



自主防災訓練

初期消火・救出救護訓練などを行っている。
しかしながら、自主防災組織を結成後、訓練など実施していない組織もあり、行政嘱託員・校区・地区公民館長合同会で改めて協力を呼びかけている。また、自治会長など

を対象とした研修会を実施するなど、被害の未然防止・軽減に向けた普及啓発活動を行い、防災意識の向上と併せ、自主防災組織の活性化につなげていく。

子育て ファミリーサポート 事業に取り組む考えは

市長／今年度ニーズ調査を実施し事業の検討を行う

山下 核家族化の進行や就労形態の多様化により、変則的な一時託児を希望する世帯が増加しているが、労働者や主婦が会員とした子どもの預かりなどの援助を行う事業に取り組む考えはないか。

市長 現代の社会情勢や就労形態の多様化を考慮すると、育児期における身近なサポート事業の一つと理解している。今年



山下つきみ 議員

実施する子育て支援事業ニーズ調査の調査項目対象としており、その結果を踏まえ、事業の検討を行っていく。

学童保育について
市長／児童数などを勘案しさらに検討する

山下 本市は、社会福祉法人・校区公民館・ボランティアなど様々な形態で運営されており、状況によっては補助対象外となっている学童保育がみられることから、未実施校区も対象とし、実態に即した独自の助成事業を実施する考えはないか。

市長 少子化の進行が懸念されることから、補助基準に満たない放課後児童クラブや、現在におい

てクラブのない小学校区についても、児童数などを勘案しさらに検討する。



環境

住宅地の排水路対応は

市長／地域と協議を行い、推進を図る



西 次雄 議員

西 川辺地域平山、田部田地区は、水田等を埋め立てて多くの住宅が建設され、排水路が整備されていないことから、悪臭など環境悪化が懸念されているが、今後の対応を問う。

市長 住宅地の排水路整備は、国の補助事業として地方改善施設整備事業。市単独事業として、生活道路等環境整備事業により対応しており、地元負担が生じることから、地域と十分な協議を行い事業の推進を図る。

特産品の販売強化を

市長／動向を見ながら検討したい

西 フェイスブックを活用して特産品の販売やPRに努めている自治体がある。

増加しているが、生産者の所得向上のために取り組む考えはないか。

市長 フェイスブックを開発して、特産品を販売PRすることは興味ある取り組みであるが、商品の安定供給対策の土台となる環境整備や費用対効果などを研究する必要がある。



整備が待たれる排水路

商工会

スタンプ会事業への支援を

市長／支援の妥当性について検討



蔵元 慎一 議員

蔵元 平成24年4月に南九州市商工会が誕生しているが、スタンプ会はそれぞれの組織で事業を行っている。消費者の利便性や市内

商工業の利用促進と活性化を図るため支援していく考えはないか。

市長 南九州市全体で通用する新たなスタンプ会設立の動きがあると聞いている。本市商工業事業者の一体感醸成や、疲弊する小規模小売店舗の維持、振興に寄与するもので期待をしている。またJAや大型店舗のポイント制度との整合性など、公共の利益に照らしながら、支援の妥当性について検討をしていく。

8人制サッカーへの施設の対応は

教育長／整備を進めていく

蔵元 少年サッカーの公式戦が8人制に移行しているが、市内小学校やサッカー場の今後の対応は。

教育長 本年度から、日本・九州・県サッカー協会が主催、後援する大会はすべて8人制で実施されている。本市でも対応できるように施設の整備を進めていきたい。



旧町のスタンプ会カード

里道管理について

市長／災害復旧等は市で対応

道路整備



内園 知恵子 議員

内園 国から、市町村に無償譲渡された里道について、市が責任を持つべき、また、宮崎市では里道舗装の整備は、1メートルの幅員まで、地域負担なしで実施しているが、このような考えはないか。
市長 里道・水路などの



集落内の里道

法定外公共物の管理は利用する者が行い、財産管理は市が行う。ただし災害復旧や安全対策上特に必要な事項については市が対応する。

財政課長

本市においても、他の市町村の例も参考にしながら、里道の取り扱いについて、他の市町村がどのようにやっているのか研究している。不特定多数の方が利用する市道的役割を果たすものに対して、何らかの措置ができないか検討している。

肺炎球菌ワクチン助成について

市長／国や県内の動向を考慮し検討

内園

インフルエンザワクチンの接種に加え、肺炎球菌ワクチンを接種することにより、肺炎による死亡率が大きく低下する。高齢者の健康維持と医療費削減を図るため、肺炎球菌ワクチン接種に助成する考えはないか。

市長

県内の状況は11市町村が助成を行っている。ワクチンの継続的な接種効果、限られた財源の中での公平性、公益性など、国や県内自治体の動向を十分考慮し、ワクチン接種の助成について検討したい。

その他の質問

・不登校

通学路

防犯灯設置について

教育長／関係課と協議し整備を進めたい



蓮子 幹夫 議員

蓮子

知覧中学校の自転車用通学路には、通学用防犯灯が設置されているが、颯娃及び川辺地域の通学路にも設置する考えはないか。

教育長

教育委員会では平成23年度に中学校を通して実態調査を行い、未整備の箇所が多いので、設置が必要な集落内の道路、集落と集落を結ぶ道路に分けてまとめ、集落と集落を結ぶ道路については、生徒や保護者からの要望が強く、緊急性が高いところから、関係課と協議し整備を進めていきたい。

消防団OBの活用について

市長／検討を進めたい

蓮子

地域外の会社などに勤務する消防団員が増加している。昼間の災害等の対応が厳しいと思う



防犯灯が望まれる通学路

が、消防団OBを身分保障のうえ、団活動のサポートをさせる考えはないか。
市長 現在、消防団員の充足率は98.7%である。地域の方々のご協力をいただきながら団員の確保に努めたい。OBの活用については団を通してアンケートを実施し、できるだけ豊富な知識と経験が生かされるように検討を進めていきたい。

幼保連携

かつめ保育所の 幼保連携は

市長／今後慎重に検討したい



亀甲 俊博 議員

亀甲 かつめ保育所の民営化が計画されているが、民営化にあたり幼保連携をどのように進める考えか。

亀甲 子育て環境の充実が地域活性化の鍵を握っている。親や幼稚園、保育所関係者ら子育ての悩みに直面している当事者が検討段階から議論に加

われば、利用しやすい隠れたニーズを掘り起こす地域の実情にあったものになる。かつめ保育所の民営化にあたっては、子ども・子育て会議の中で地域と議論をしていく考えか。

福祉課長 そのように考えている。

その他の質問

・ 契約や使用許可



民営化予定のかつめ保育所

窓口サービス

地区公民館での サービスを早急に

市長／実現できるよう努力したい



竹迫 毅 議員

竹迫 12月議会で今後積極的に検討するとの答弁であったが、これまでの取り組み、取扱い事務はどのように考えているか。

市長 各部署の検討結果を持ち寄り、企画連絡会で具体的な取り組みについて検討している。

現在は教育施設であり住民票や印鑑証明等のサービスを行うには、市長部局への移管など、かなりの期間を要すると思われるが、早い時期に実現できるよう努力したい。

今後、地区公民館長の理解と協力をお願いし、事務を円滑に進めるための手続き、方法などについても検討したい。



窓口サービスが望まれる公民館

港湾整備要望の対応は
市長／事業採択は厳しい

竹迫 知覧漁業振興会より要望のあった松ヶ浦港整備にどう対処する考えか。

また、離岸堤より波除堤の設置も考えられるかどうか。

市長 平成15年及び平成24年3月にも要望書が提出されている。

約10億円の事業費試算があり、6割が本市の負担になることから実施は厳しい。

防火水槽

整備状況及び 今後の整備計画は

市長／26年度から補助事業を
活用したい



田畑 浩一郎 議員

討
したい。

田畑 今後、二次製品を
使用し、補助金を活用す
る考えは。

市長 26年度以降から、
二次製品などを使い、補
助金を有効活用したい。

田畑 3地域ごとの防火
水槽の充足率及び市有地
民有地ごとの設置基数並
びに今後の整備計画を示
せ。

市長 今後の整備計画
は、平成24年4月に策定
した南九州市消防施設設
備等整備計画に基づき、
毎年3基ずつ地域の状況
を勘案しながら、計画的
に整備していく。

田畑 民有地について
は、世代が代わることで、
苦情なども出ると思
うが、どのように考える
か。

市長 その時に応じて、
買い上げなども含めて検

防火水槽の設置状況

	頤娃	知覧	川辺
充足率 (%)	50.6	97.8	70.2
設置基数	239	281	143
うち市有地	41	28	130
うち民有地	198	253	13



二次製品を利用した防火水槽

議会を傍聴してみませんか。

次の議会は **9月3日(火)** 開会予定

“手続き簡単” 本館2階で住所・氏名を書くだけ

6月定例会において、南九州市役所新規採用職員研修の一環として、議会傍聴がありました。うち1名の感想文を掲載いたします。

今回の研修において初めて議会を傍聴しました。議会の仕組みや雰囲気等、何もかもが分からないままの傍聴でしたが、議会の緊迫した空気が、議員と市長を始めとした答弁者とのやりとりで圧迫されました。行政の立場と市民を代表する議員は、お互いに南九州市の現状を踏まえ、今後、南九州市がそれぞれの分野において、どのような方向性で行政サービスを行っていくのがベストな選択であるのかということをしつかり議論しており、南九州市の発展のために尽力している姿を感じました。

また、自分の知らなかった案件に関する議題等も多く、南九州市の政策や現状、制度などに知識が足りなかった自分の甘さ・勉強不足を痛感致しました。今後は、自分

の部署の政策や現状について深く把握していくことは当然として、他の部署の仕事内容や、南九州市全体の現状等もより深く勉強していかなければならないと自覚するとともに、行政マンとして南九州市の発展のために尽力していかなければならないと、改めて身の引き締まる思いになりました。

